

## 映像作成による人文学のコンフリクトの国際研究教育の可能性

特任研究員 田沼幸子

昨年プロジェクト報告会では以下のような展望をあげた。

- 1) 撮影済み映像に対し市岡康子氏による指導を受け、さらなる撮影と編集の参考とし、作品として平成 22 年 3 月までにまとめる
- 2) 様々な民族誌映画作家と個人的な交流があり、撮り方や編集の仕方の背後にある哲学を知る市岡氏による民族誌映画の古典の解説講座を受ける
- 3) Rethinking “the visual”というテーマで、visual とはなにかということを理論的・歴史的視野と、映像評論、映像作成に関わるさまざまな立場から再考する研究をすすめる
- 4) 映像作品の上映会
- 5) メンバー相互の教授・学習による映像編集技術習得の向上

→ 予算の制限があったものの、メンバー各自の資源を活用することによって、ほとんどの計画を遂行することができた。

### 本年度 2009 年度の展望

- 1) この 2 年間に得た知識、撮影してきた素材を編集し、コンフリクトの人文学の名にふさわしい映像作品をつくる。完成作品は国内外のドキュメンタリー・民族誌映画祭に出品する。
- 2) 既にある資源（上映権つきビデオ）、研究会メンバーが作成した映像などを活用して上映会・講演会・ワークショップを行い、映像によるコンフリクトの人文学の表現を試みる人々の議論・交流の場を設ける

### 参考資料 2008 年度活動（他プロジェクトリーダーによるものも含む）

（『』内は研究会で鑑賞した映画名）

4 月 1 日 『人間ピラミッド』

4 月 10 日 The Land is Bad （Disappearing World, Granada TV）

4 月 16 日 映像人類学ワークショップ「映像による異文化表象の諸問題 ―人類学者デヴィッド・タートン教授を囲んで―」

4月22日 『Dead Bird』

4月24日 市岡康子氏による田沼幸子、上田達、森田良成のフィールド撮影映像指導

4月25日 市岡康子氏レクチャー「John Marshall」

5月4日 『セルソとコーラ』

5月4-5日 Rethinking “the Visual”事前研究会

5月8日 『カメラを持った男』

5月16日 『Night Mail』『 West Highland』

5月30日 『カンニバル・ツアーズ』

6月1日 日本文化人類学会第42回研究大会分科会 Rethinking “the Visual”開催

6月6日 『につつまれて』『かたつもり』

6月20日 市岡康子氏レクチャー「ティモシー・アッシュ」(Timothy Asch)

7月4日 『エドワード・サイード：Out of Place』

7月—8月12日 田沼キューバ撮影 (Cuba sentimental preview 編集)

9月4日 市岡康子氏レクチャー「ジャン・ルーシュ」

9月5日 市岡康子氏による奥田若菜、田沼幸子のフィールド撮影映像助言

9月18日 『ベトナムから遠く離れて』

9月25日 『ゆきゆきて、神軍』

10月9日 『落穂拾い』

10月16日 『新しい神様』

10月23日 『戦ふ兵隊』

10月30日 『全身小説家』

11月6日 『サラエボの花』

11月13日 『選挙』

11月20日 『極私的エロス』

11月24日 市岡康子氏による田沼映像作品荒編集への指導・助言 (6時間)

12月10～30日 田沼米国、キューバ撮影

1月15日 『友だちのうちはどこ?』

1月22日 パレスチナ映画『Rainbow』(他プロジェクト参加)

1月27日 『そして人生は続く』

1月29日 『ナヌムの家』

2月3日 「パレスチナの二つ国家—わずかさすぎる、遅すぎる」(映画上映と講演)(他プロジェクト参加)

2月5日 『オリーブの林をぬけて』

2月26日 レクチャー「映像で教えること」畿央大学准教授西端律子先生

3月3日 『霞の工場』(Fábrica de Humo)上映・監督とのトーク